

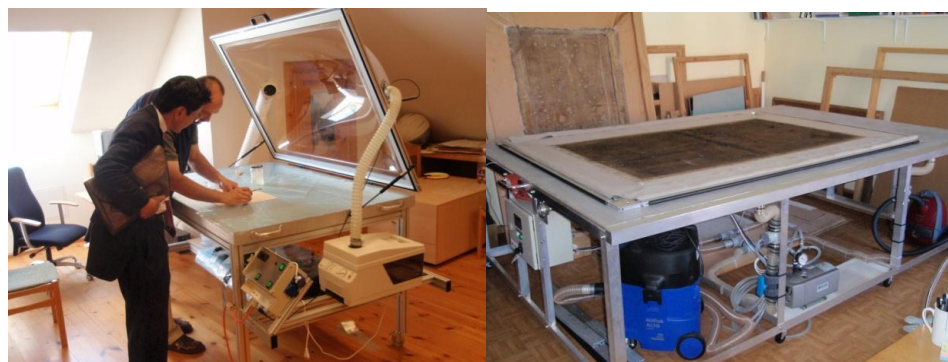
文化無償協力(リトアニア国立博物館)

リトアニア国立博物館・修復センターは、2003年に調査・保存機材(44,200,000円)を、2008年に修復機材フォローアップとして水彩画修復機材(20,346ユーロ)を、それぞれ日本政府からの文化無償協力により受領しました。

リトアニア国立博物館・修復センターには5つの機材ユニットがあり、同センターのスタッフからは、顕微鏡及びX線装置(以下写真)により、美術品等を損壊することなく確認・調査できるとのコメントをいただいています。



同センターの全ての技術者は、同センターが、高度な技術を駆使したヨーロッパ内でも数少ない修復センターの一つであることに対して感謝の意を表明しています。この機材はリトアニア国内の他の美術館の、考古学品や古代絵画の保存・調査にも活用されています。



上記左写真は紙製の品を、同右は布製の品を保存する機材です。同センタースタッフからは、これら機材は良好なコンディションを維持しており、この状態を維持するのは全く問題ないとのコメントが寄せられています。全ての機材には日本からのODAであることを示すシールが貼られ、これらが日本からの供与であることが一目で分かるようになっています。